

リース会計・税務・法務実務の勘所と IFRS 改訂基準のポイント

- 日 時 ● 2015年10月6日(火) 10:00~17:00 12:00~13:00 昼食 休憩
 ● 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
 ● 講 師 ● 井上 雅彦氏 公認会計士 (公益社団法人) 日本証券アナリスト協会 検定会員

1986年、一橋大学商学部卒業、生命保険会社勤務を経て、88年、中央新光監査法人(現みずほ監査法人入所)。99年より中央青山監査法人パートナーを経て現在に至る。トーマツ内のリースクレジットインダストリー リースリーダー。日本公認会計士協会他で委員等での要職経験多数。【主な著書等】単著「三訂版キーワードでわかるリースの法律・会計・税務」、単著「三訂増補版キーワードでわかる退職給付会計」、共著「退職給付会計の実務 Q&A」以上税務研究会、単著「Q&A リースの会計・税務(第3版)」、共編者「会計用語辞典」共著「Q&A リース・ノンバンクファイナンス取引の実務」以上日本経済新聞社、単著「事業再編に伴う退職給付制度の設計と会計実務(日本公認会計士協会第35回学術賞受賞)」、共著「退職給付制度見直しの会計実務(第2版)」、共著「退職給付債務の算定方法の選択とイパクト」以上中央経済社、単著「退職給付会計実務の手引き」税務経理協会、その他、会計専門誌等にリース会計、退職給付会計に関する論文等執筆多数。各種団体等でのセミナー講演実績多数、明快で懇切丁寧な語り口で好評。

●プログラム●

- ◆会計、税務、法律の観点からリースの実務を総点検。実務上知っておくべきポイントをわかりやすく解説。
- ◆借手中心の解説。重要な点は貸手の実務にも言及
- ◆IFRSのリース改訂基準のポイントと今後の実務や日本基準への影響を解説。

1. リース会計実務及びリース税務実務の勘所と留意事項

リース会計上、リース税制上の主要論点を示し実務対応上の重要ポイントを解説する。その際、連結と個別との関係、税務との関係との関係等も踏まえて実務上の勘所をおさえていただく。さらに最新の実務傾向を展望しながら、リース会計実務やリース税務実務上のポイント、異同を深堀していく。

2. リース契約上の勘所と法務上の留意事項

リース取引やリース契約の内容をじっくり理解することによって、リース取引において知っておくべき取引実務、法務実務を点検する。

3. IFRS(国際財務報告基準)の再公開草案とIFRS及び日本基準の今後の動向

国際会計基準では、借手は全てのリース(不動産やレンタル等の賃貸借取引を含む)をB/Sに計上する、即ち、オペレーティング・リースもオン・バランスすることになる予定である。また、リースの定義やリース期間についても日本基準と相違した取り扱いとなる。この基準が適用された場合の影響を示して、今後の実務対応を展望する。

<質疑応答>

*当日、サブテキストとして「この一冊でわかるリースの税務・会計・法務」講師著(定価2,500円 税別)を配布いたします。

●参加要領●

●受講料：1名(資料・サブテキスト・昼食代含)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者がご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ
 担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp
 〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2
 TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

151592-0106		10/6 『リース会計・税務・法務実務の勘所と～』	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			